

# クロスZIPスクリーン 3連タイプ

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。  
また、本書を大切に保管して下さい。

## 組み立て時のご注意！



- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
  - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
  - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
  - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立てできない場合があります。
  - 組立説明書に表記してある注意事項を守って、組み立てて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

## 使用時のご注意！

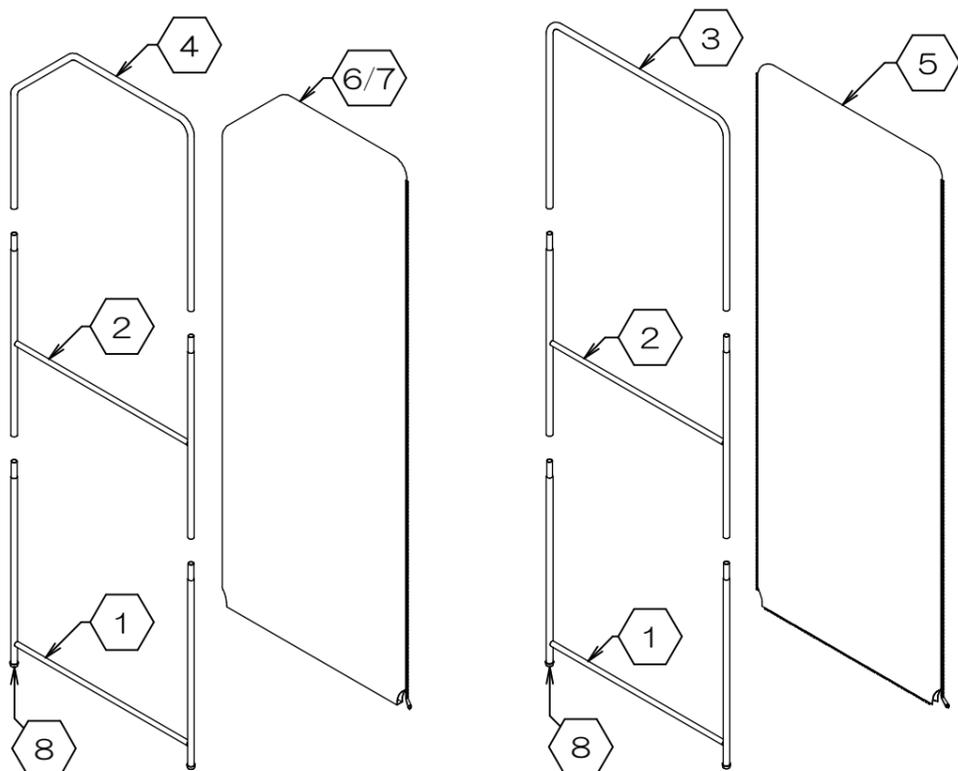


- 室内専用ですので、屋外では絶対に使用しないで下さい。風などの影響により倒れる恐れがあります。
  - 専用の安定脚を使用しない場合は、屏風としてご使用下さい。
  - 本製品は持ち運びを容易にするために、軽量に設計されています。強い風や接触によるスクリーンの転倒にご注意下さい。
  - 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり張り布が変色したりすることがあります。
  - 本製品は防水仕様ではありません。水に濡れた場合は放置せず、拭き取って下さい。また、高温多湿な場所での使用は、劣化を進める要因となります。
  - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
  - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
  - 張り布を洗濯する際は、色移り等の可能性がありますので、ネットに入れ単独で洗濯して下さい。
  - アイロン、漂白剤は絶対に使用しないで下さい。
  - 張り布を扱う際は、ファスナーを強く折り曲げないで下さい。破損する恐れがあります。
  - 張り布は、生産ロットによる若干の色の差が出る場合があります。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。

## 組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

項目	部品名称	数量
1	下フレーム(共通)	3
2	中フレーム(共通)	3
3	中間用 上フレーム	1
4	両端用 上フレーム(共通)	2
5	中間用張り布	1
6	両端用張り布 (スライダー有)	1
7	両端用張り布 (スライダー無)	1
8	アジャスター (取り付け済)	6

※ 工具は不要です。



製品仕様 外形寸法：幅60cm×奥行2cm×高161cm 重量：2kg (パネル1枚あたり)  
 主要材料：スチール、ポリエステル  
 表面処理：スチール=パウダー塗装  
 原産国：フレーム=中国、クロス=台湾

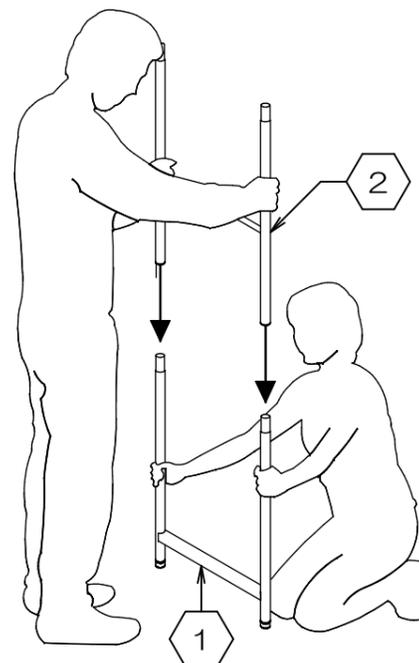


B0725-R4

## 1. フレームの組み立て①

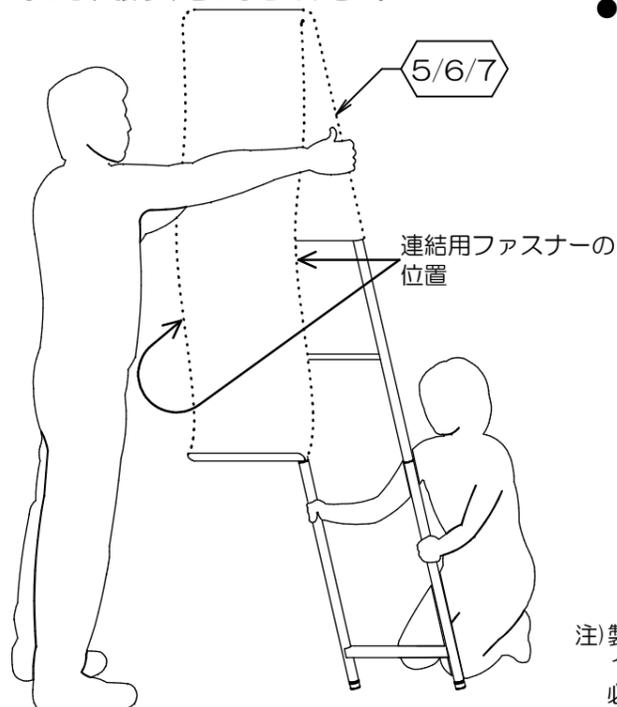
注) 作業は必ず2人以上で行って下さい！

- ※ 組み立て手順は、中間用も両端用も同じです。
- 下図を参考に、1人が①下フレームをしっかりと持ち、もう1人が②中フレームを差し込んで下さい。



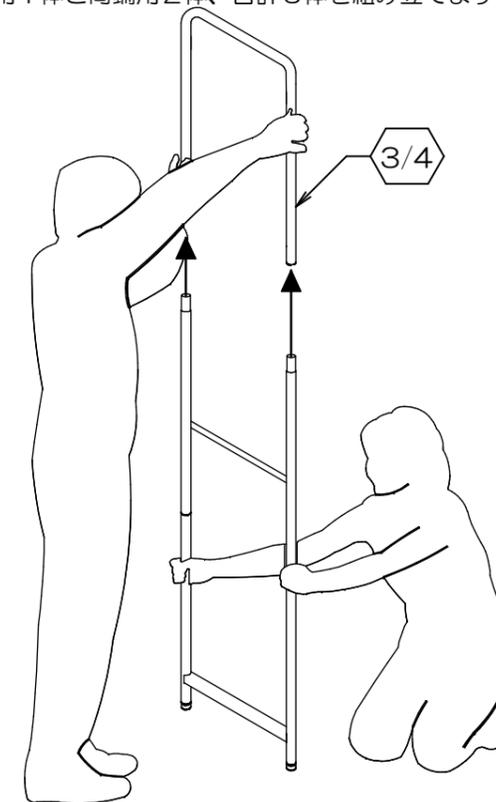
## 3. 張り布の装着

- 組み上がったフレームを1人が支え、もう1人が⑤⑥⑦張り布をかぶせていきます。その際 無理に引っ張らずに、慎重に行って下さい。
- 組み上がった両端用フレームの形と張り布の形を、必ず合わせて張り布をかぶせて下さい。
- 連結用ファスナーが必ず端になるように合わせながら、張り布をかぶせて下さい。



## 2. フレームの組み立て②

- 次に、③④上フレームを②中フレームにしっかりと差し込みます。
- 中間用1体と両端用2体、合計3体を組み立てます。

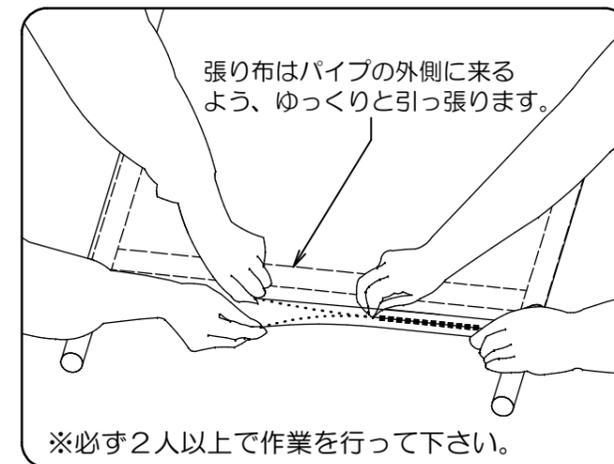


※ 差し込み部は緩めになっています。張り布をかぶせるまでは抜ける恐れがありますので、ご注意下さい。

## 4. ファスナーを閉じる

注) 部材や床・机上などにキズや汚れがつかないように、必ず段ボールや毛布等を敷いて作業を行って下さい。

- 下図を参考に、前項で張り布をかぶせた本体を、床や机の上などに置きます。
- 1人が張り布の両端を引っ張りながら持ち、もう1人がファスナーを閉じていきます。その際 ファスナーに無理な力が掛からないよう、ゆっくりと静かに閉めて下さい。



注) 製品の構造上、張り布のテンションはとてもきつく設計されています。1人で作業を行うと、ファスナーを破損したり布を破く恐れがあります。必ず2人以上で作業を行って下さい。

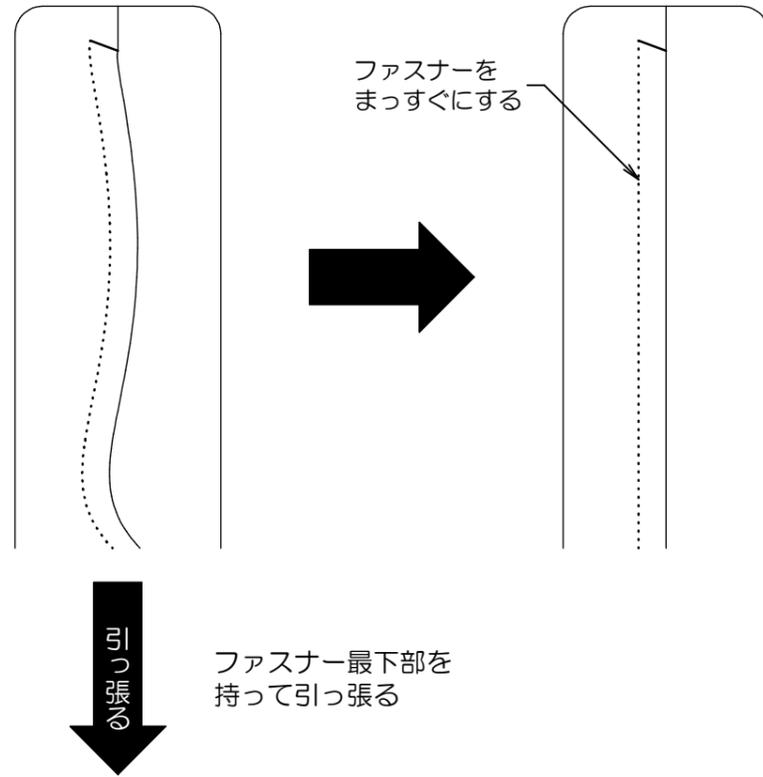
## お問い合わせ先

製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500  
 〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50  
 ホームページURL：https://www.hayashi-yumeita.com/

YS-N3

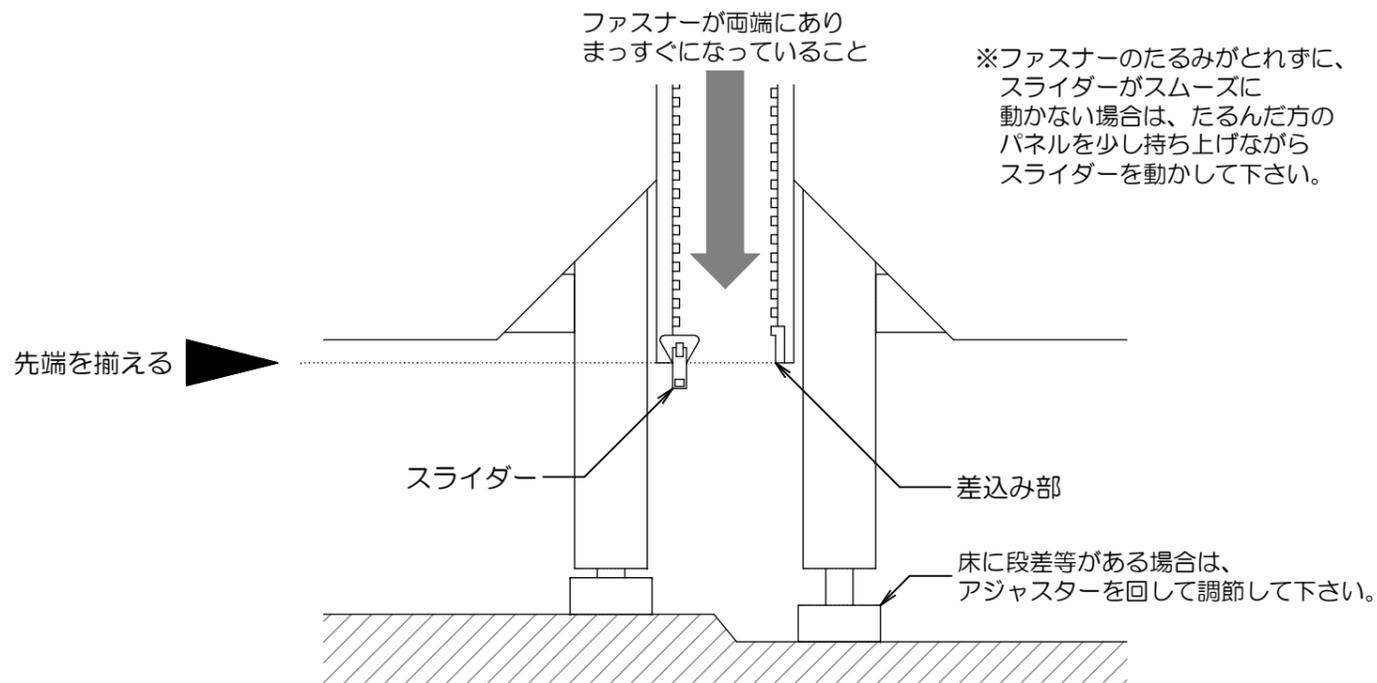
## 5. ファスナーをまっすぐに整える

- 連結ファスナーが両端に来ているかを、必ず確認して下さい。
- ファスナーがまっすぐになるよう、下に引っ張って下さい。



## 7. 連結方法

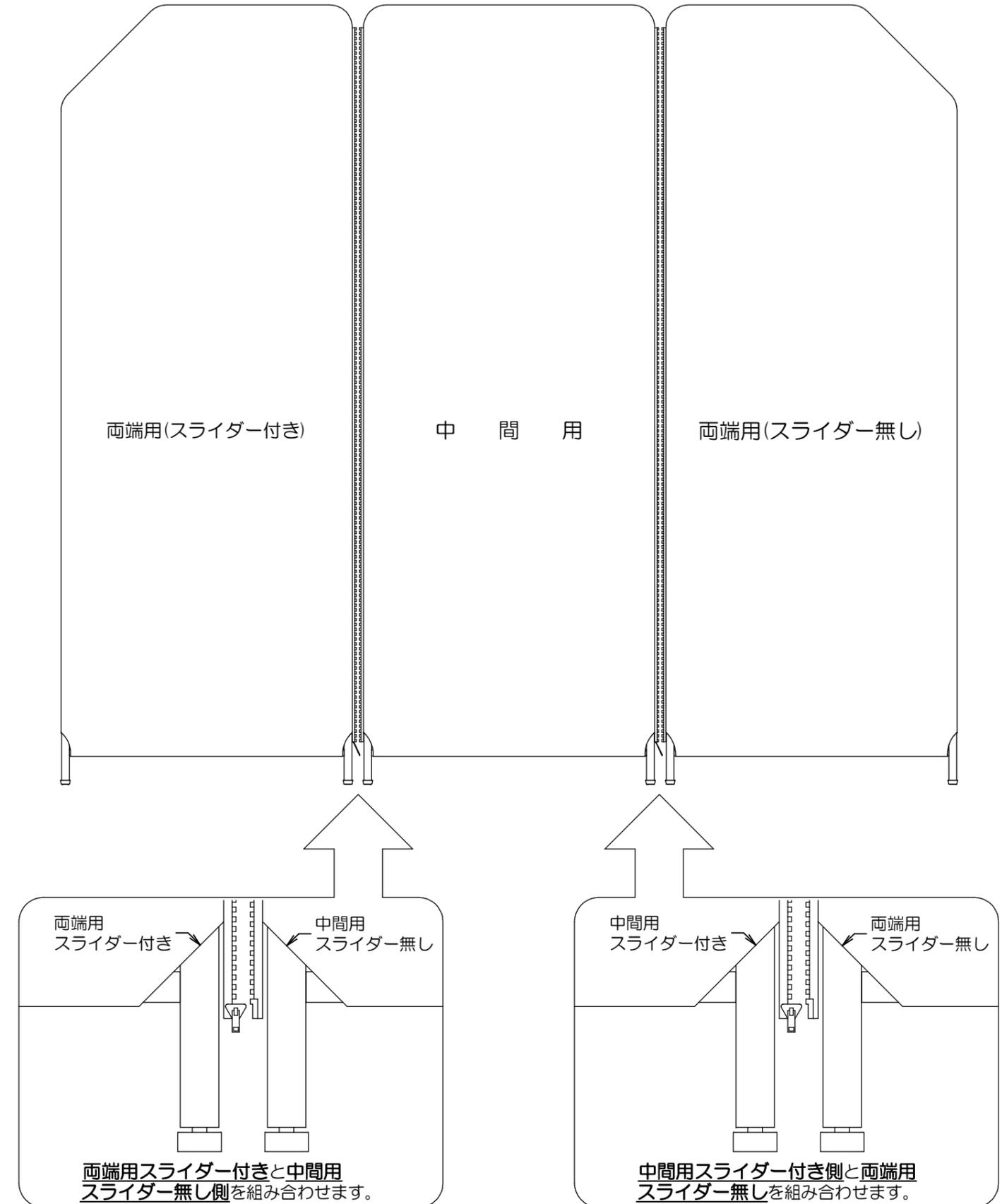
- 連結する前に、以下を確認して下さい。
  - ・ファスナーがまっすぐになっていること。
  - ・たるんだりして波打っている場合は、スライダー部と差込み部を持って下へ引っ張り、まっすぐに伸ばして下さい。
  - ・ファスナーが、スライダー有り/無しの対になっていること。
  - ・ファスナーの先端位置が揃っていること。
- 揃っていない場合は、同様にどちらかのスライダー部と差込み部を持ち、下へ引っ張り揃えて下さい。
- 確認ができましたら、スライダーをゆっくりと締めて下さい。



※レイアウト後、すべての設置面が浮かないように必ずアジャスターで調節して下さい。

## 6. パーティションの配置確認

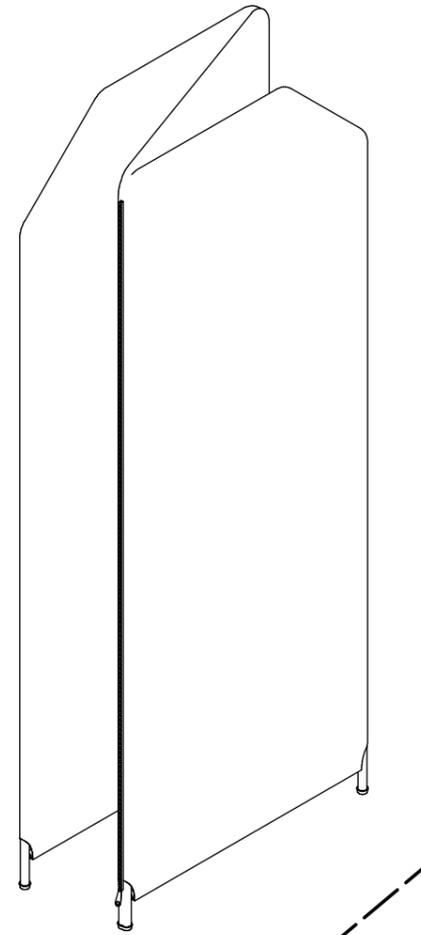
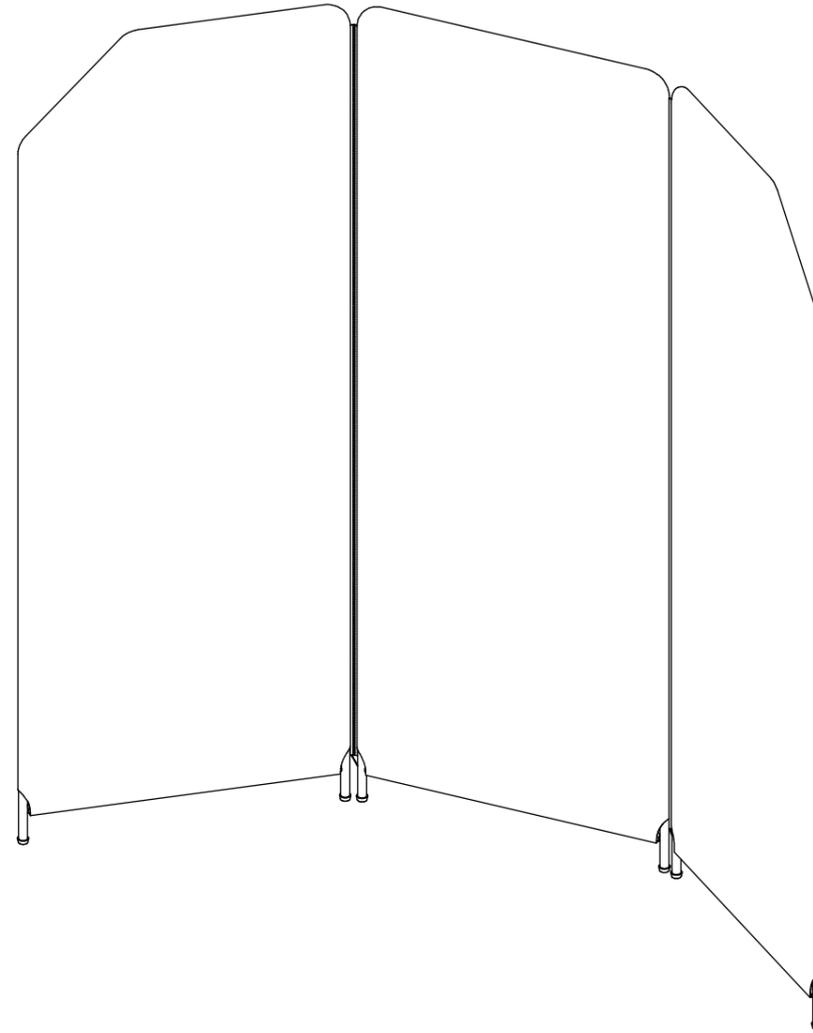
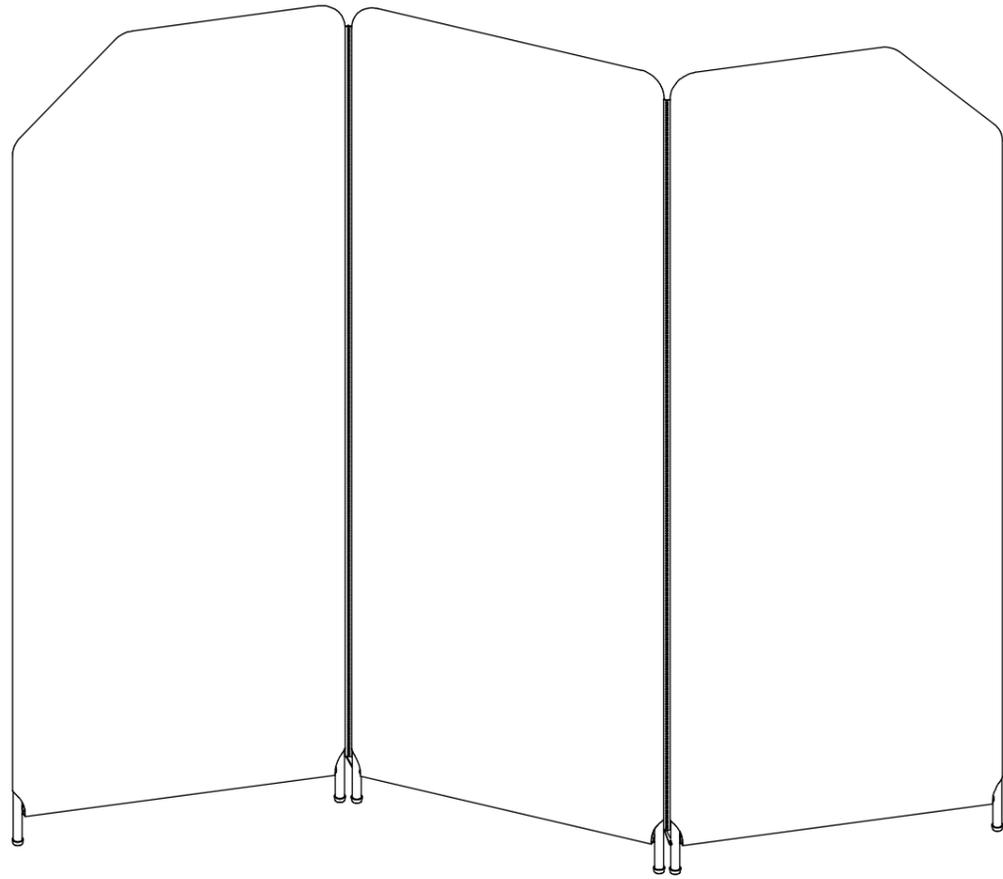
- まず最初に、以下の点をご確認下さい。
- ① 両端用パーティションには、スライダー付きとスライダー無しの2種類があります。
- ② 中間用パーティションには、片側にスライダーがあり、もう一方にはスライダーが付いていません。



# ご使用方法と注意事項について

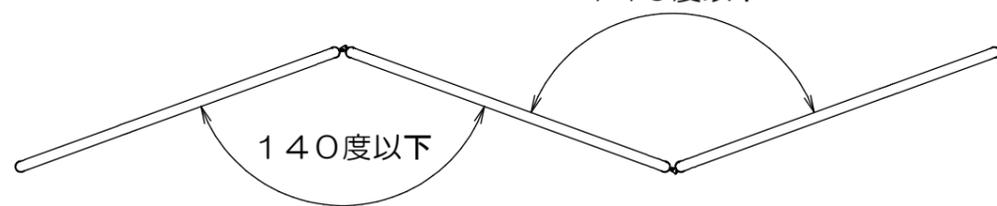
△ 専用の安定脚を使用しない場合は、屏風としてご使用下さい。

△ 本製品は持ち運びを容易にするために、軽量に設計されています。強い風や接触によるスクリーンの転倒にご注意下さい。



真上図

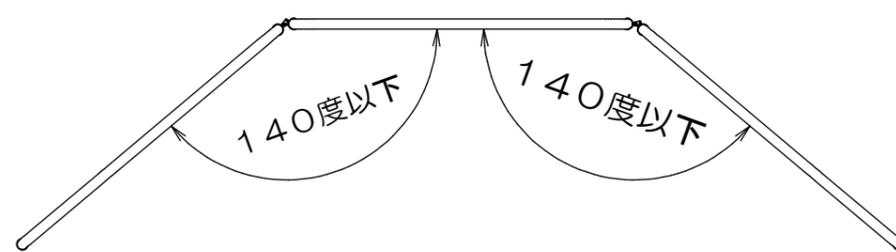
140度以下



真上図

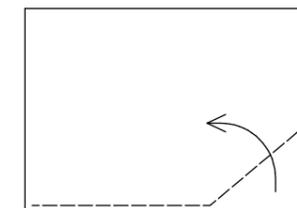
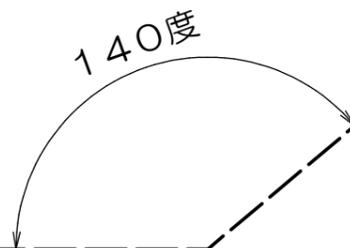
140度以下

140度以下



製品を折りたたむ場合は、  
パネル面が交互にあるよう  
折りたたんで下さい。

140度



本書を点線で折り曲げて、140度角度の目安としてご利用下さい。

# クロス張りファスナー連結スクリーン3連(防災加工)

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。  
また、本書を大切に保管して下さい。

## 組み立て時のご注意！



- 組み立てる際は、指先などを傷つけないよう、手袋等を着用して下さい。
- 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷つけないよう十分ご注意ください。
- 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
- 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立てできない場合があります。
- 組立説明書に表記してある注意事項を守って、組み立てて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

## 使用時のご注意！

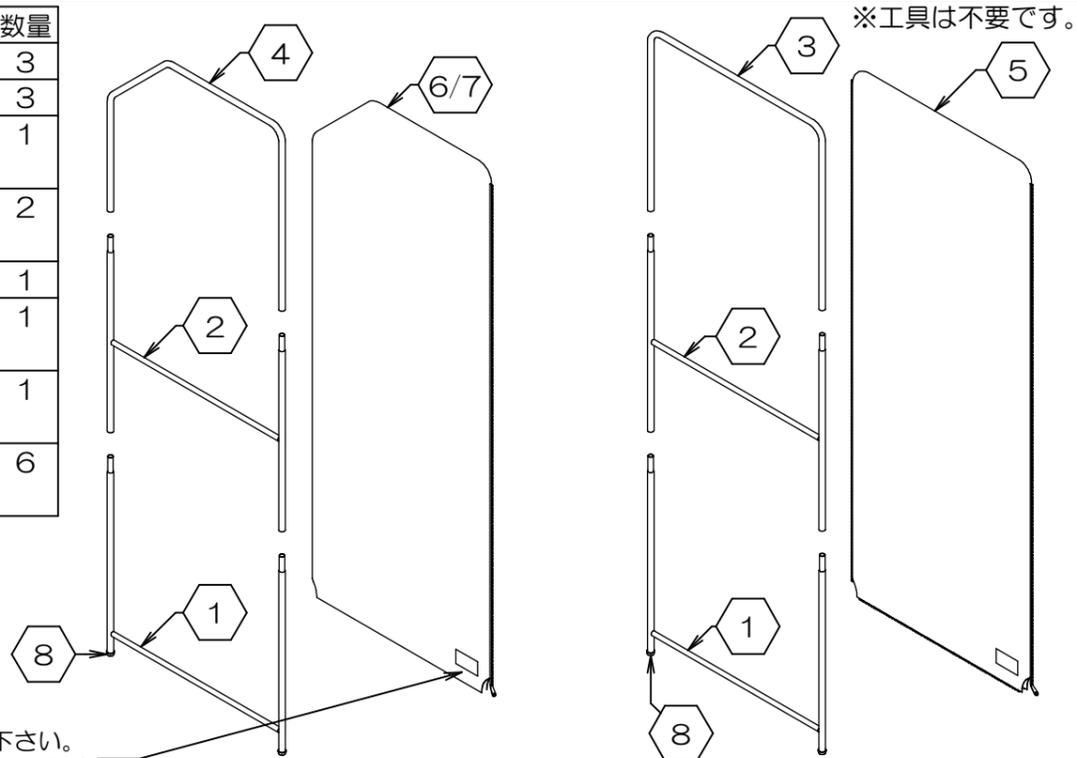


- 室内専用ですので、屋外では絶対に使用しないで下さい。風などの影響により倒れる恐れがあります。
- 専用の安定脚を使用しない場合は、屏風としてご使用下さい。
- 本製品は持ち運びを容易にするために、軽量に設計されています。強い風や接触によるスクリーンの転倒にご注意下さい。
- 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり張り布が変色したりすることがあります。
- 本製品は防水仕様ではありません。水に濡れた場合は放置せず、拭き取って下さい。また、高温多湿な場所で使用は、劣化が進む原因となります。
- 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
- 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- 張り布は洗濯すると防災効果がなくなります。汚れがひどくなった場合は、製造元へご連絡下さい。洗濯・再防災処理を有償にて承ります。
- アイロン、漂白剤は絶対に使用しないで下さい。
- 張り布を扱う際は、ファスナーを強く折り曲げないで下さい。破損する恐れがあります。
- 張り布は、生産ロットによる若干の色の差が出る場合があります。

※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。

## 組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

項目	部品名称	数量
1	下フレーム(共通)	3
2	中フレーム(共通)	3
3	中間用 上フレーム	1
4	両端用 上フレーム(共通)	2
5	中間用張り布	1
6	両端用張り布 (スライダー有)	1
7	両端用張り布 (スライダー無)	1
8	アジャスター (取り付け済)	6



防災マークは剥がさないで下さい。  
※張り布を洗濯すると、防災効果が  
なくなります。

製品仕様 外形寸法：幅60cm×奥行2cm×高161cm 重量：2kg (パネル1枚あたり)  
主要材料：スチール、ポリエステル  
表面処理：スチール=パウダー塗装  
原産国：フレーム=中国、クロス=台湾

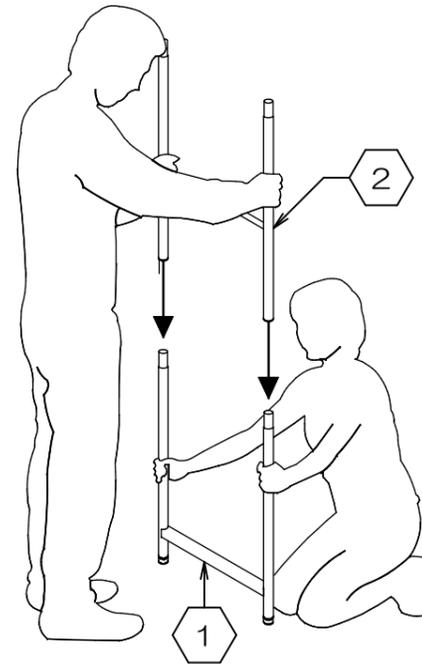


B1325-R2

## 1. フレームの組み立て①

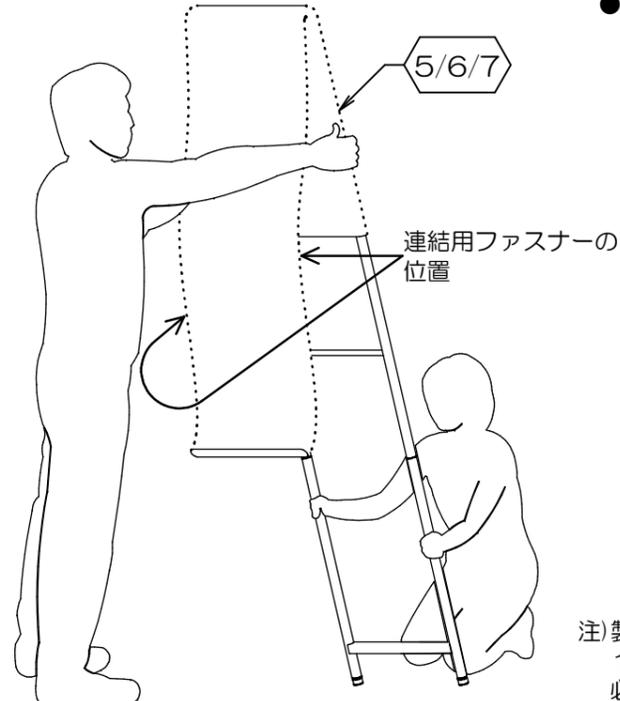
注)作業は必ず2人以上で行って下さい！

- ※ 組み立て手順は、中間用も両端用も同じです。
- 下図を参考に、1人が①下フレームをしっかりと持ち、もう1人が②中フレームを差し込んで下さい。



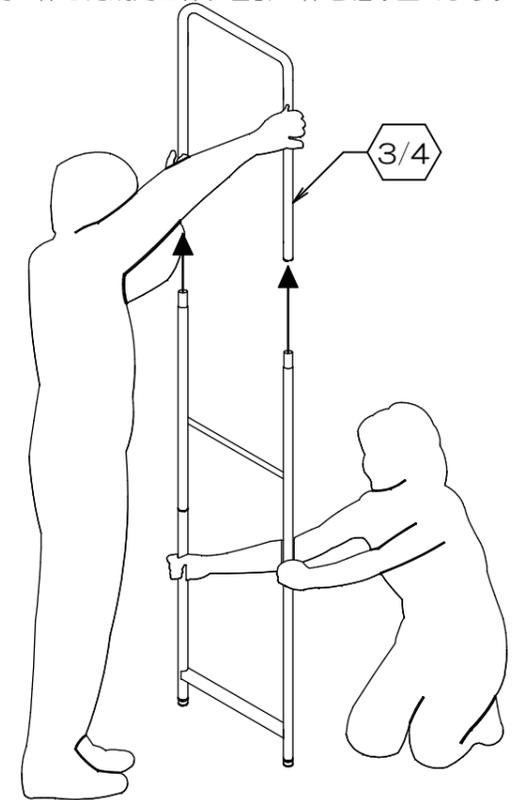
## 3. 張り布の装着

- 組み上がったフレームを1人が支え、もう1人が⑤⑥⑦張り布をかぶせていきます。その際 無理に引っ張らずに、慎重に行ってください。
- 組み上がった両端用フレームの形と張り布の形を、必ず合わせて張り布をかぶせて下さい。
- 連結用ファスナーが必ず端になるように合わせながら、張り布をかぶせて下さい。



## 2. フレームの組み立て②

- 次に、③④上フレームを②中フレームにしっかりと差し込みます。
- 中間用1体と両端用2体、合計3体を組み立てます。

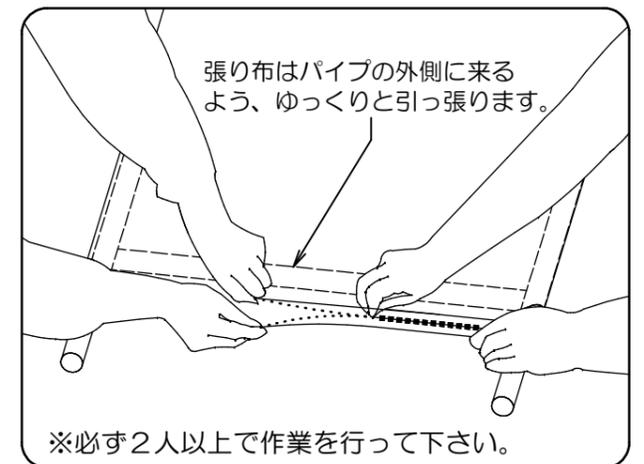


※ 差し込み部は緩めになっています。  
張り布をかぶせるまでは抜ける恐れがありますので、ご注意ください。

## 4. ファスナーを閉じる

注)部材や床・机上などにキズや汚れがつかないように、必ず段ボールや毛布等を敷いて作業を行って下さい。

- 下図を参考に、前項で張り布をかぶせた本体を、床や机の上などに置きます。
- 1人が張り布の両端を引っ張りながら持ち、もう1人がファスナーを閉じていきます。その際 ファスナーに無理な力が掛からないよう、ゆっくりと静かに閉めて下さい。



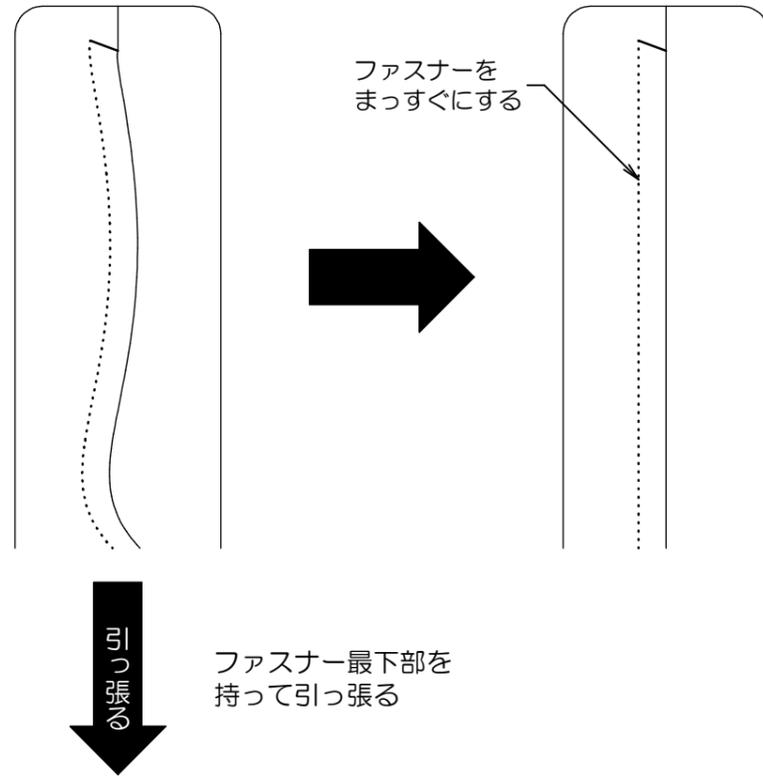
注)製品の構造上、張り布のテンションはとてもきつく設計されています。  
1人で作業を行うと、ファスナーを破損したり布を破く恐れがあります。  
必ず2人以上で作業を行って下さい。

お問い合わせ先  
製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500  
〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50  
ホームページURL：https://www.hayashi-yumeita.com/

YS-A3FP

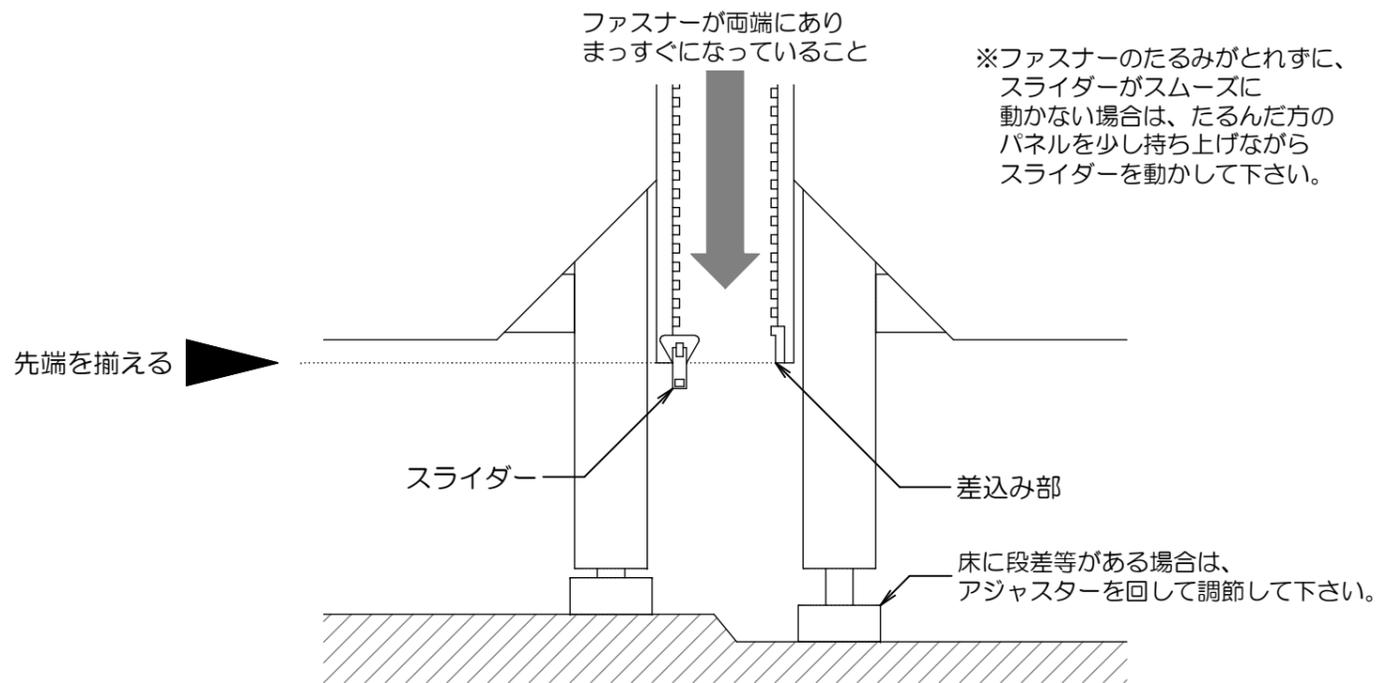
## 5. ファスナーをまっすぐに整える

- 連結ファスナーが両端に来ているかを、必ず確認して下さい。
- ファスナーがまっすぐになるよう、下に引っ張って下さい。



## 7. 連結方法

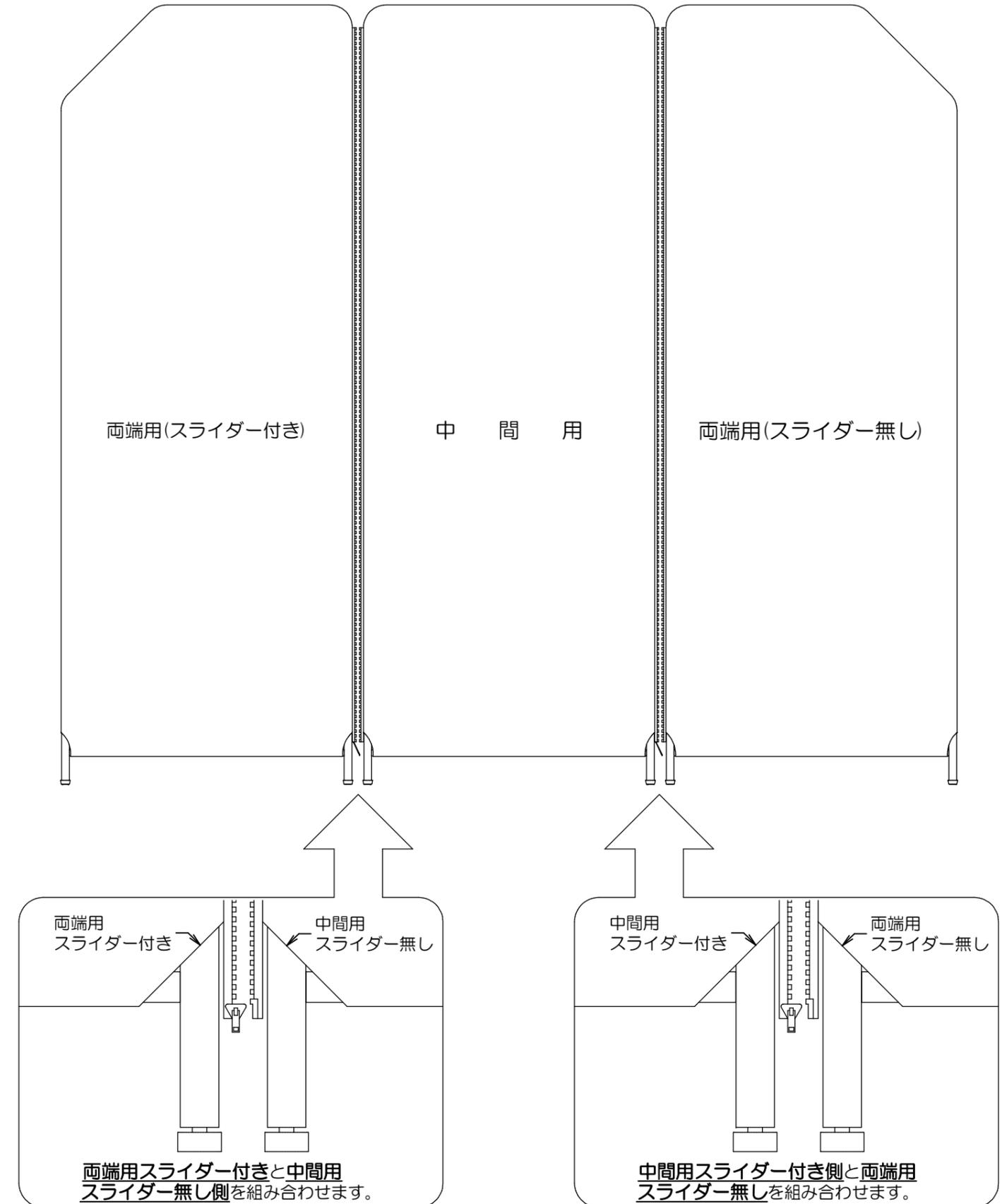
- 連結する前に、以下を確認して下さい。
  - ・ファスナーがまっすぐになっていること。
  - ・たるんだりして波打っている場合は、スライダー部と差込み部を持って下へ引っ張り、まっすぐに伸ばして下さい。
  - ・ファスナーが、スライダー有り/無しの対になっていること。
  - ・ファスナーの先端位置が揃っていること。
- 揃っていない場合は、同様にどちらかのスライダー部と差込み部を持ち、下へ引っ張り揃えて下さい。
- 確認ができましたら、スライダーをゆっくりと締めて下さい。



※レイアウト後、すべての設置面が浮かないように必ずアジャスターで調節して下さい。

## 6. パーティションの配置確認

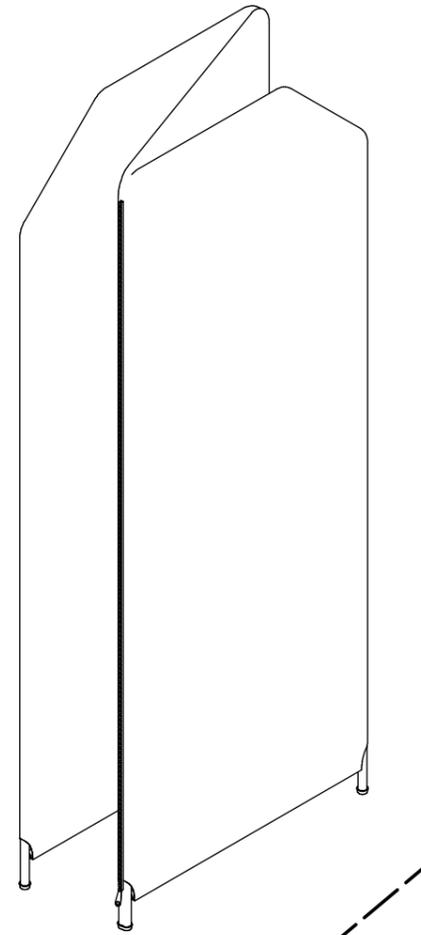
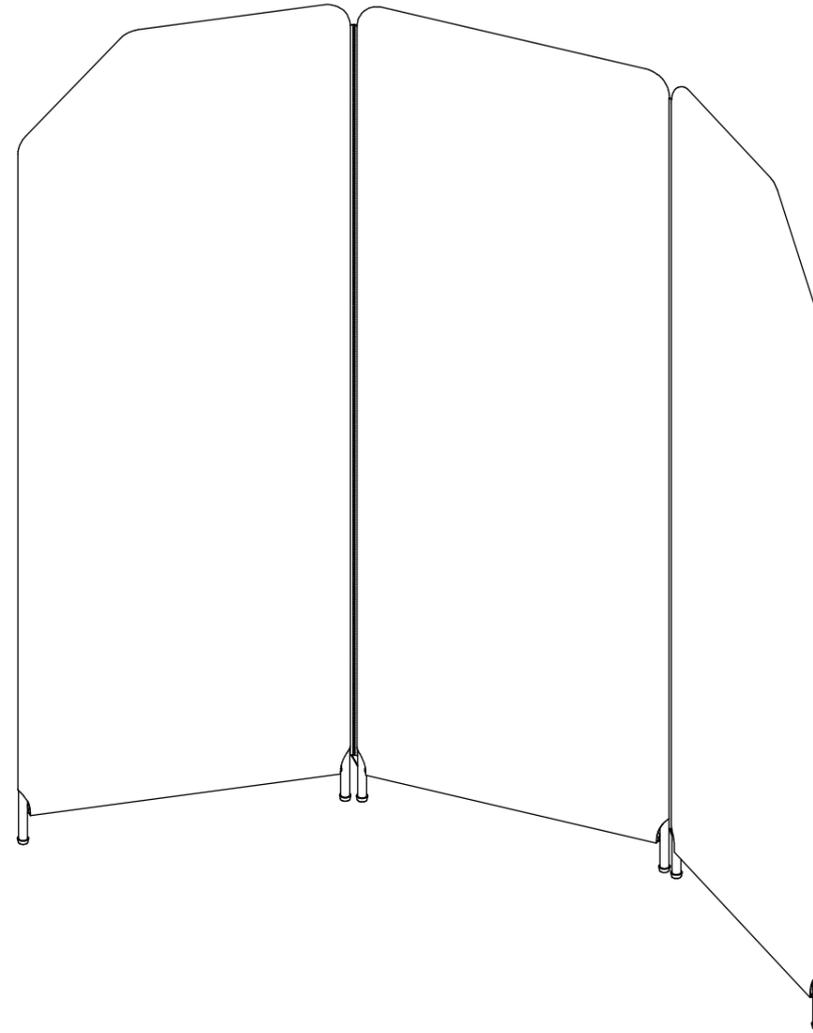
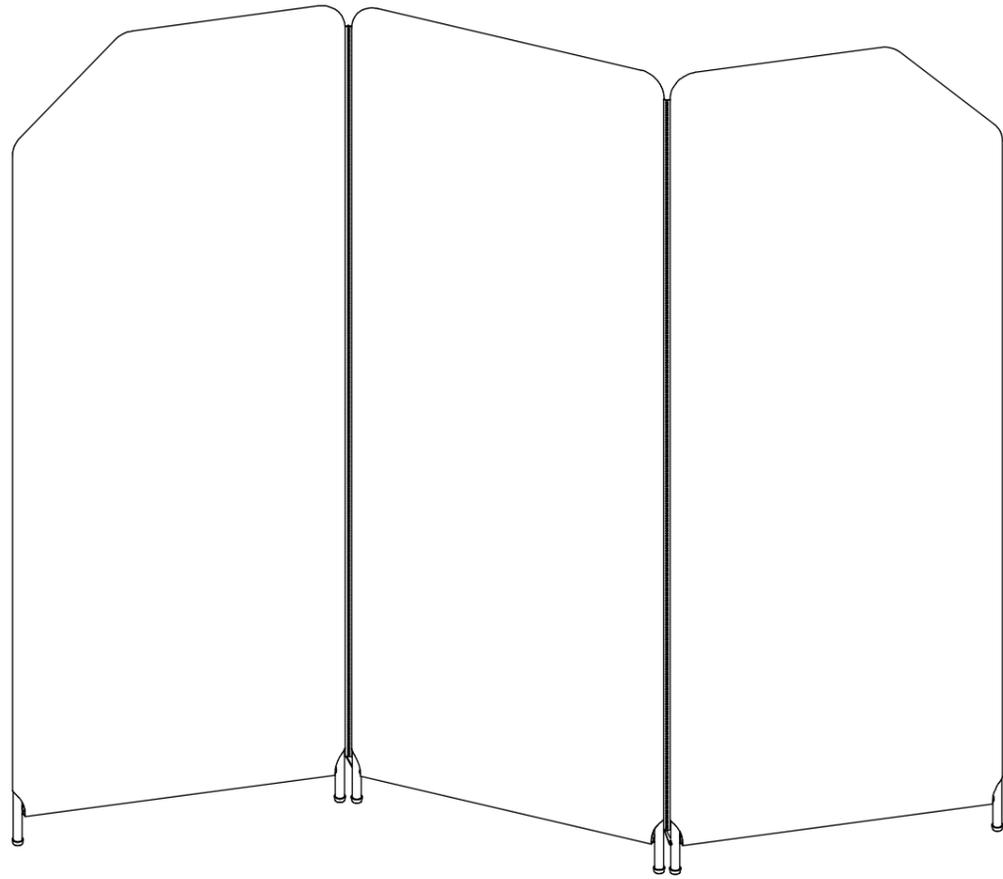
- まず最初に、以下の点をご確認下さい。
- ① 両端用パーティションには、スライダー付きとスライダー無しの2種類があります。
- ② 中間用パーティションには、片側にスライダーがあり、もう一方にはスライダーが付いていません。



# ご使用方法と注意事項について

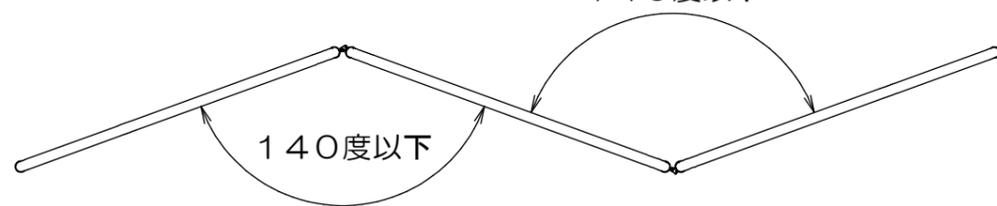
△ 専用の安定脚を使用しない場合は、屏風としてご使用下さい。

△ 本製品は持ち運びを容易にするために、軽量に設計されています。強い風や接触によるスクリーンの転倒にご注意下さい。



真上図

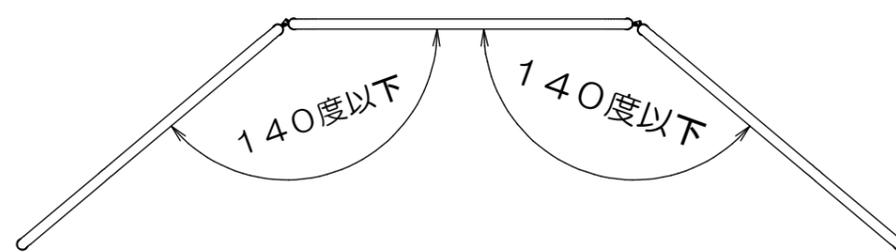
140度以下



真上図

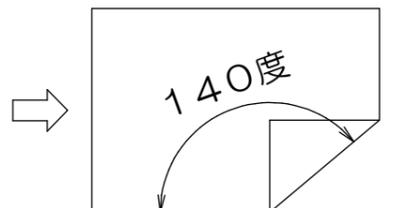
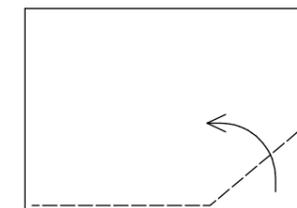
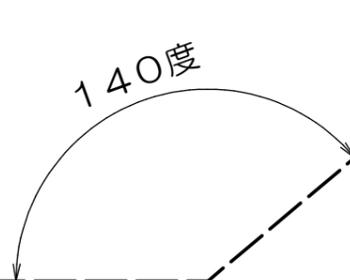
140度以下

140度以下



製品を折りたたむ場合は、  
パネル面が交互にあるよう  
折りたたんで下さい。

140度



本書を点線で折り曲げて、140度角度の目安としてご利用下さい。